

新型コロナウイルス感染症に関して必要とする施策について (てんどう創生の会・令和2年5月19日)

◎雇用調整助成金申請への支援

雇用調整助成金の申請は売上高の算出等が複雑で、個人での申請書類の作成は困難であるとの声がある。そのため、雇用調整助成金の申請説明会を聴いただけでは申請に至らない場合があると思われる。

雇用調整助成金の申請を社会保険労務士等に依頼した際の費用の一部補助や個別に相談できる市独自の窓口の開設が必要ではないか。

◎持続化給付金の支援に該当しない事業者への支援

本市の中小企業者緊急経営支援事業は持続化給付金の支給決定が要件とされている。持続化給付金の支給要件に「50%以上の売上げの減少」というものがあり、売上げの減少が50%未満の場合には本市の中小企業者緊急経営支援事業には該当しない。

飲食業緊急経営支援事業は持続化給付金の支給決定が要件とされていないため、飲食業の場合は売上げの減少が50%未満の場合であっても支援されるので問題はないが、売上げの減少が50%に満たない飲食業以外の事業者には支援がない状態である。売上げの減少がなかった事業者への支援は必要ないが、50%に近い売上げの減少がある事業者への支援も必要ではないか。

(参考) 売上げの減少が30～50%未満で持続化給付金の支給対象にならない個人事業者に30万円を給付する。

◎持続化給付金申請への支援

手続き方法が分からないなどの理由により持続化給付金の申請をためらっている事業者がいるようである。

5月28日にイオンモール天童に開設が予定されている持続化給付金の電子申請を支援する取り組みを早急に、かつ積極的にPRし、持続化給付金の活用を促進する必要があるのではないか。

◎需要の減少により販売されない農畜産物や商品を特売するシステムの構築

外出の自粛や学校給食の中止などのために需要が減少し販売されない農畜産物や商品を特売するシステムを構築し、消費拡大を図る必要があるのではないか。

(参考)

・やまがたさくらんぼファーム(天童市)

規格外の果物40Kgを3万円弱で6か月の間に届けるサービス。2週間で約120トンを完売。

- ・加藤物産（上山市）

賞味期限が近い商品を詰め合わせにして半額で提供。約2時間で予定数量を完売。

- ・飯豊町

町内産米沢牛の焼肉セットを町民に半額以下で販売

◎感染防止のための店舗設備等の整備経費の支援

市内の商業店舗を営む中小企業者に対して、これからも継続すると考えられる新型コロナウイルス感染防止のための店舗設備等の経費（ビニールカーテン等飛沫対策用品や手指消毒液の購入費、換気設備導入費等新型コロナウイルス対策事業であると市長が認めるもの）を補助してほしい。※東根市で実施

◎市民への情報伝達体制の構築

新型コロナウイルス感染症支援対策情報や市のお知らせ等、市民への情報伝達が行き届いていない現状を踏まえ、市報とは別に新型コロナウイルス感染症特集号の早期発行をお願いしたい。併せて、感染者が本市より出た場合を想定し、予備知識となる情報を掲載してほしい。（労災補償や雇調金等の各種申請、同居する家族に感染者が出た場合の対応について等）

◎ふるさと納税の寄付の使い道の項目に「新型コロナウイルス感染症対策」の項目を追加

ふるさと納税の寄付の使い道の項目の中に新型コロナウイルス感染症対策の項目を追加することで本市出身の方が寄付し易い体制が構築されるとともに、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大防止や新型コロナウイルス感染症により影響を受けた方（事業者含む）への経済対策などを迅速に実施することに加え、市民が安心して暮らすことができるまちを取り戻すために活用してほしい。

◎DV被害者等の相談支援体制の強化

外出自粛の長期化によるDV被害者等の増加に対応するため、県の関係機関とも連携を図り、相談支援体制の強化と臨時シェルター（避難先）としてのホテル借り上げによる緊急避難を支援してほしい。

◎窓口の「待ち人数」状況のホームページでの公開

新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、混雑が予想される窓口の「待ち人数」状況を市のホームページで公開してほしい。

◎終息後を見据えた中長期的な対策

感染の終息が見えた段階で、本市のすべての事業所を対象として新型コロナウイルス感染症による影響を調査したうえで、終息後を見据えた中長期的な対策を検討してほしい。